



学校だより

令和4年9月30日

10月号

岩国市立岩国小学校

読書の秋

校長 清 寿光

10月に入ると、朝夕の涼しさが心地よい季節となります。この時季は、「読書の秋」「スポーツの秋」「食欲の秋」などと言われるように、自然の恵みがたくさんあり、人間が生活するのに一番適している季節です。

「秋の夜長」という言葉がありますが、私は「読書の秋」をおすすめします。あまり夜更かしをせず、上手に時間を使い、読書をしてはみてはどうでしょう。

児童に聞いてみると、「毎日、本を読んでいます」という子もいましたが、「読書は嫌い」「読書は苦手」という子も何人かいました。ある調査によると、平日の読書時間は、「10分より少ない」あるいは「全くしない」という子が、35パーセント程度いるようで、本校でも似たような傾向になっているのではないかと考えられます。

読書をするにより、多くの良いことがあります。まず、想像力が養われます。また、文章を読んで内容を理解する力がつくと、あらゆる教科学習の基礎となる国語力をつけることが可能になります。そして、分析的な思考力が身につく、文章を書く能力もアップします。他にも集中力やコミュニケーション力の向上などが期待できます。本からたくさんの知識を得ることで、自分の頭で考える習慣も身につきます。小さいうちからの読書習慣は、大人になって社会で働くうえでも大きな影響があると言えます。読書が好きな子どもを育てるには、子どもに読書をしている大人の姿を見せることも大切です。「読書の秋」です。家族そろって読書に興じてみては如何でしょうか。



6年【プログラミング授業】



岩国工業高校機械科8名の生徒による、ロボットを動かすプログラムを作成する出前授業がありました。出前授業の内容は、基本操作を基に課題の迷路をスタートからゴールまで進むプログラムを完成させることです。6年生はロボットに興味津々で、目を輝かせながら班ごとに相談し合い、講師役の高校生に質問したり、分からない部分のヒントを高校生に出してもらったりしてプログラムを作成しました。そのプログラムを使ってロボットを実際にコースで走らせ、プログラムを作り上げる達成感を感じることができました。

5年【自然教室】



9月22日(木)～23日(金)、5年生が国立山口徳地青少年自然の家で1泊2日の自然教室学習を行いました。オリエンテーリングや焼き板細工などの活動を行い、友達としっかり関わりながらとても充実した学習となりました。特に、TAP(徳地アドベンチャープログラム)では、友達と協力して課題解決に取り組むことができました。みんなで意見を出し合ったり、手を差し伸べ合ったり、支え合ったりする姿が見られ、集団としての高まりを感じることができました。2日間で学んだことを今後の学校生活にしっかりと生かしてほしいと思います。

1年【人権教室】



9月15日(木)に人権擁護委員の方をお招きして、人権教室を行いました。人権についての話を聞いたり、動画「ねずみくんのきもち」を見てねずみくんやねこくんの気持ちを考えたりしました。「ねずみくんのきもち」というお話を観た子ども達は、「おもいやりのきもちが1ばんです。」「ともだちとなかよくあそびたいです。」という感想を書いていました。相手を思いやることの大切さに、気付けたようです。

人権擁護委員の皆様、ありがとうございました。